令和５年度第１回下越地域医療構想調整会議　議事概要

１　日時

令和５年７月 18 日（火）　午後６時 30 分から午後７時 15 分まで

２　場所

ほっとＨＯＴ・中条（胎内市西本町 11 番 11 号）

３　会議の概要

（１）令和５年度地域医療構想等への対応スケジュールについて

事務局から資料１により今年度のスケジュールについて説明。今年度は３回程度の開催を予定しており、第１回の主な議題は紹介受診重点医療機関の協議である。第２回の主な議題は全病院が策定する予定の地域医療構想への対応方針の協議であり、第３回の主な議題は今年度の外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の協議である。また、協議する時期が未定の議題としては介護医療院へ移行する病院の病床機能再編計画などが予定されている。

（２）紹介受診重点医療機関の協議について

事務局から資料２－１及び２－２により紹介受診重点医療機関について説明。下越圏域の病院の医療資源を重点的に活用する外来の初診と再診に占める割合を確認するとともに、紹介受診重点医療機関となる意向の有無を確認した。その結果、紹介受診重点医療機関の基準を超え、かつ、意向があったのは県立新発田病院だけであり、会議で異論はなく、県立新発田病院が紹介受診重点医療機関となることが了解された。

（３）病床機能の変更等について（県立坂町病院）

県立坂町病院から資料３により病床機能の変更を報告。変更の内容は、令和４年 10 月から急性期病床を削減し、地域包括ケア病床 13 床を 48 床に増床したもの。変更の理由は、当該地域の高齢化や人口減少に伴い、急性期を脱した回復期患者・軽度救急患者・レスパイト入院患者に対応するためである。

（４）地域医療の課題に対する住民の理解を深める啓発講座等について

資料４により県立新発田病院、県立坂町病院、県立リウマチセンター、新潟聖籠病院、全国健康保険協会新潟支部、村上市、村上地域振興局健康福祉部から取組について発表があった。また、事務局から「みんなで支える地域医療推進事業」を説明。構成員へ当該事業の活用や共催の検討などを依頼した。

（５）新潟県外来医療計画にかかる医療機器の共同利用計画について

事務局から資料５により医療器械の共同利用計画について説明。県立新発田病院及び大杉脳外科医院の共同利用計画を確認した。